

ラグビーワールドカップ2019™について



2020年1月

釜石市RWC2019推進本部事務局



RWCで感謝のフラッグを掲げる「かまいし絆会議」の子どもたち

1. PNC・RWC釜石開催の概要について

(1) PNC (7/27)、RWC2019実施状況

① 試合結果及び入場者数

日付	キックオフ	試合	入場者数
7/27 (土)	14 : 45	日本 vs フィジー (3 4 対 2 1)	13,135人
9/25 (水)	14 : 15	フィジー vs ウルグアイ (2 7 対 3 0)	14,025人
10/13 (日)	12 : 15	ナミビア vs カナダ (台風19号の影響により中止)	—

1. PNC・RWC釜石開催の概要について

(1) PNC (7/27)、RWC2019実施状況

PNC (国会斉唱)



PNC (熱戦の様子)



RWC (ホストシティパフォーマンス)



RWC (ホストシティパフォーマンス)



RWC (ブルーインパルス
展示飛行)



RWC (試合開始直前の様子)



1. PNC・RWC釜石開催の概要について

(1) PNC (7/27)、RWC2019実施状況

② 観客輸送の状況 (人)

日付	ライナーバス		P&R		シャトルバス		計	
	往路	復路	往路	復路	往路	復路	復路	復路
7/27 (土)	1,892	1,978	4,678	4,632	2,171	2,195	8,741	8,805
9/25 (水)	2,015	2,082	3,414	3,340	1,567	2,027	6,996	7,449

※ 9月25日は、釜石内の全小中学生、2,228人を招待し、別途手配のバスにより、スタジアム入り

③ 医療救護の状況 (人)

日付	スタジアム内		スタジアム外		ファンゾーン		計	
	救護所	救急搬送	救護所	救急搬送	救護所	救急搬送	救護所	救急搬送
7/27 (土)	36	4	10	3	3	—	49	7
9/25 (水)	3	—	2	1	2	—	7	1

1. PNC・RWC釜石開催の概要について

(2) ファンゾーン実施状況

日付	入場者数	主な内容	主な出演者（敬称略）
7/27（土）	約5,000人	オープニングトークショー、ゲストトークショー、パブリックビューイング、餅まき	志田友美、アンダーエイジ、サンドウィッチマン
9/25（水）	5,323人	オープニングトークショー、ゲストトークショー、パブリックビューイング、餅まき、ワイン&ラムナイト	鈴木スポーツ庁長官、志田友美、アンダーエイジ、サンドウィッチマン、松尾雄治
9/20～ 11/2(最終)	38,982人	パブリックビューイング、展示コーナー（復興への歩み、対戦国ブース、姉妹都市ブース）、企画イベント等 11/2(最終日)の入場者数は、3,107人 釜石商工高虎舞、釜石高校合唱、クロージングトークショー、かまいし絆会議「ありがとうの手紙」の合唱、不来方高校合唱などを行い、最後は、「カマイシ」コールが鳴りやまず、大いに盛り上がった。 ファンゾーンは、28日間開催(30日開催予定)	

1. PNC・RWC釜石開催の概要について

(3) 公式ボランティアの状況

① 採用、登録状況

公式ボランティア採用者数

約700人

② 当日の従事状況

日付	【スタジアム内ボランティア】 スタジアム内での案内誘導、 ウェルカムコール、清掃、VIP 案内など	【スタジアム外ボランティア】 ラストマイル・主要駅・ファン ゾーンでの案内誘導、ウェルカム コール、ガイドブックの配布など
7/27 (土)	144人	67人
9/25 (水)	260人	154人

1. PNC・RWC釜石開催の概要について

(4) 開催都市独自ボランティア「いわて・かまいしラグビー応援団」の状況

① 申請状況

独自ボランティア（9/27現在）	
グループ数【うち応援の店】	活動人数（延べ）
4 1 4 団体【2 8 9 事業所】	28,829人

② 活動内容

- ・ 2人以上のグループによる盛り上げ活動、おもてなし活動、環境美化活動等、自由な発想による幅広い活動を「応援団」として受付
- ・ 国内外からのお客様の“おもてなし”活動に取り組む店舗、事業所、職場などを「応援の店」として受付
- ・ スタジアム清掃（7/20, 9/14, 10/5）
- ・ 試合日及びその前後のまちなか案内（ウェルカムコール、ファンゾーンへの誘導、交通拠点での案内）
- ・ 高校生等の通訳案内ボランティア

1. PNC・RWC釜石開催の概要について

(5) RWCの取組の成果

① 復興支援への感謝の意、復興の姿、震災の教訓の発信

- ・ 9/25 試合開始直前の黙とうの実施
- ・ 感謝のメッセージを記したビッグフラッグの掲出
- ・ 市内全小中学生による「ありがとうの手紙」の合唱
- ・ 高校生ボランティア等による震災経験の伝承活動

② 市民、県民、事業者等の力の結集

- ・ 市民有志によるRWC誘致活動
- ・ 幅広い世代がボランティア、イベント民泊等でおもてなし

③ 市内飲食店等におけるインバウンド対応の進展

- ・ キャッシュレス決済の導入
- ・ メニューの多言語化

④ 県内へのスタジアムの認知度向上

- ・ 多くのスタジアム視察者（団体）、清掃ボランティアの参加

上記の他、スタジアムオープニングイベントからラグビーワールドカップ2019を通じたイベントの規模、内容、天候等が異なる大会運営経験の蓄積